

全建発第7－127号
令和7年 8月27日

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会 長 大 石 久 和
(公 印 省 略)

第716回建設技術講習会（これからの公共事業と建設技術者のあり方）
開催のご案内について

謹啓 本協会事業について、平素よりご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、本協会では、標記建設技術講習会を別紙のとおり開催いたします。

本講習会は、これからの社会資本マネジメントに関する施策の体系と今後の展望、グリーン成長戦略と道路、気候変動に備える流域治水の推進、公共事業とメディア報道の関係、未来を拓くインフラ・プロジェクト、i-Constructionとインフラ分野のDXの推進等について学ぶことを目的としています。

つきましては、貴協会の技術力研鑽の活動としてご活用いただきますようお願いいたします。

謹白

(一社) 全日本建設技術協会 事業課 杉戸、黒崎 TEL 03-3585-4546 FAX 03-3586-6640 MAIL kensyu@zenken.com

全建発第7－128号
令和7年 8月27日

国土交通省地方整備局 企画部長 殿
都道府県 建設関係部局長 殿
市町村長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会 長 大 石 久 和
(公 印 省 略)

第716回建設技術講習会（これからの公共事業と建設技術者のあり方）
開催のご案内について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本協会は、国土交通省・農林水産省をはじめ、都道府県及び市町村等に勤務する建設技術関係者約5.6万名で構成されています。

建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上、連携・交流の促進を図り、安全・安心で豊かな国土づくりに寄与する施策の円滑な推進及び、良質な社会資本の整備・保全を通じて、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした団体です。

本協会の講習会は、道路、河川等各部門の行政課題はもちろん、災害に強い安全な国土づくり、これからのインフラの維持管理・更新等、建設事業の実施に当たって特に重要な課題を取り上げております。また、講師には建設行政等の各分野に造詣が深い方を迎え、公共事業に係る諸問題解決や実務の習得、最新情報の提供及び現場力向上のための現場視察等、業務に直接役立つ内容となっております。

この度の標記建設技術講習会は、これからの社会資本マネジメントに関する施策の体系と今後の展望、グリーン成長戦略と道路、気候変動に備える流域治水の推進、公共事業とメディア報道の関係、未来を拓くインフラ・プロジェクト、i-Constructionとインフラ分野のDXの推進等について学ぶことを目的としています。

本講習会は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨をご理解の上、本講習会を研修の一環としてご活用いただき、貴機関職員のご参加についてご高配を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

(一社) 全日本建設技術協会 事業課 杉戸、黒崎 TEL 03-3585-4546 FAX 03-3586-6640 MAIL kensyu@zenken.com

第716回建設技術講習会のポイント



建設技術関係者が抑えるべき知識と最新施策

○開催日：令和7年10月22日（水）～10月24日（金）

○開催場所：埼玉県さいたま市

○テーマ：これからの公共事業と建設技術者のあり方

○主な講義内容

- ・建設技術関係者必聴！大石会長が語る「日本の国家崩壊を防ぐために知るべきこと」
- ・第3次担い手3法に関する取組等、最新施策を国土交通省大臣官房技術調査課長が解説
- ・八潮市で発生した道路陥没事故を受けた埼玉県の対応を紹介

○現場研修

- ・スタジアムの魅力を一段と高める設備更新 埼玉スタジアム2002設備更新事業 [埼玉県]
- ・（仮称）外環八潮PA付近の軟弱地盤対策や橋梁下部工事の様子を視察 一般国道4号東埼玉道路（八潮～松伏）建設事業 [関東地整]
- ・民間事業者と連携した魅力ある水辺空間の創出 元荒川／大相模調節池（SakuraLake）河川空間利活用事業 [埼玉県・越谷市他]

第716回建設技術講習会（これからの公共事業と建設技術者のあり方）概要
～公共事業が抱える諸課題への対応と今後の事業の展開、公務員技術者の役割などについて学ぶ～

会場 …… 埼玉会館（小ホール）
〒330-8518 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-1-4 TEL:048-829-2471

(1日目) 開場11:40		令和7年10月22日(水)		(敬称略)
12:40 13:00	あいさつ	埼玉県知事 さいたま市長 (一社)全日本建設技術協会 会長	大野元裕 清水勇人 大石久和	
13:00 14:30	日本の国家崩壊を防ぐために知るべきこと	(一社)全日本建設技術協会 会長	大石久和	
14:40 15:40	これからの社会資本マネジメントに関する施策の体系と今後の展望	国土交通省大臣官房技術調査課長	奥田晃久	
15:50 16:50	グリーン成長戦略と道路	筑波大学名誉教授・学長特別補佐 SIP「スマートモビリティプラットフォームの構築」PD	石田東生	
18:00 19:30	「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」＜希望者のみ＞ さいたま共済会館 第1ホール (601)			
(2日目) 開場 9:10		10月23日(木)		(敬称略)
9:40 10:40	気候変動に備える流域治水の推進	国土交通省水管理・国土保全局河川計画課 河川技術調整官	菅良一	
10:50 11:50	公共事業とメディア報道の関係 (仮)	読売新聞東京本社経済部次長	鎌田秀男	
13:00 14:00	未来を拓くインフラ・プロジェクト (仮)	(一社)日本プロジェクト産業協議会 国土・未来プロジェクト研究会 委員 中央復建コンサルタンツ(株)代表取締役社長	白水靖郎	
14:10 14:30	【地域事業の紹介①】 Next川の再生「水辺deベンチャーチャレンジ」について ～SakuraLake (大相模調節池) 官民連携の取組～	埼玉県河川環境課河川環境担当主幹	上田貴司	
14:30 14:50	【地域事業の紹介②】 一般国道122号蓮田岩槻バイパス事業概要について	さいたま市建設局土木部道路計画課長	横地一久	
14:50 15:10	【地域事業の紹介③】東埼玉道路の事業概要	国土交通省関東地方整備局 北首都国道事務所長	佐藤潤	
15:20 16:20	i-Constructionとインフラ分野のDXの推進	国土交通省大臣官房参事官 (イノベーション) グループ課長補佐	藤本陽一	
16:30 17:30	八潮市道路陥没事故を受けた埼玉県の対応 (仮)	埼玉県	(調整中)	
17:30	閉会のあいさつ	さいたま市都市局都市計画部副理事 (盛土規制担当)	河原塚政浩	
(3日目) 集合 (乗車) 8:10～		10月24日(金)		【現場研修】

さいたま新都心バスターミナル (8:30) 出発
→ 埼玉スタジアム2002設備更新事業 [埼玉県]
→ 一般国道4号東埼玉道路 (八潮～松伏) 建設事業 [関東地整] → 昼食 (越谷市内)
→ 元荒川／大相模調節池 (愛称: SakuraLake) 河川空間利活用事業 [埼玉県・越谷市他]
→ 越谷レイクタウン駅 (14:40) ／大宮駅 (15:45) 着後解散

※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。
※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

第 7 1 6 回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1 埼玉スタジアム 2002 設備更新事業 [埼玉県]

…………… 埼玉県さいたま市

- ・埼玉県では県営公園の長寿命化計画に基づき、施設の維持管理を実施している。
- ・埼玉スタジアム 2002 は、63,700人を収容する、アジア最大級のサッカー専用競技場。約30haの県営公園である、埼玉スタジアム 2002 公園内に所在する。
- ・スタジアムの魅力を高め、良好な試合運営を図るため、带状映像装置（全長約400m）等の更新を進めている。



2 一般国道 4 号東埼玉道路（八潮～松伏）建設事業 [関東地整]

…………… 埼玉県八潮市

- ・一般国道 4 号東埼玉道路は、埼玉県八潮市（外環道）～春日部市（国道16号）までの延長約17.6kmの道路。本道路の整備により、並行する国道 4 号の交通渋滞の緩和や、周辺地域の開発支援、災害時の代替路としての効果等が期待される。
- ・自動車専用部と一般部（国道4号バイパス）が併設する構造となっており、外環道の交差部においては、自動車専用部（国）、（仮称）外環八潮 P A（NEXCO）、同スマート I C（市）が一体的に整備を行っている。
- ・現在は、同 P A 付近で軟弱地盤対策や橋梁下部工事を行っている。



3 元荒川／大相模調節池（SakuraLake）河川空間利活用事業 [埼玉県・越谷市他] ……埼玉県越谷市

- ・埼玉県では、県が管理する河川を対象に、民間事業者等と連携してより魅力的な水辺空間を創出し、河川空間の利活用を促進する「Next川の再生『水辺deベンチャーチャレンジ』」に取り組んでいる。
- ・越谷市の元荒川／大相模調節池においては、県、市、民間事業者が企画段階から連携し、水上デッキの整備、飲食店やコミュニティスペースの整備を進め、賑わいの創出を図っている。
- ・この河川空間の利活用によって、地域内での経済循環効果や、地域のブランド力向上による市全体の価値向上が期待される。



第 7 1 6 回建設技術講習会【聴講】について

1. 申込み方法：以下の専用ページからお申込みください

https://niccs.nishitetsutransport.jp/ntc_evt_reception/app/QG01248901

※専用ページ内のFAQ及び「操作方法のご案内」をお読みください。

前開催から操作方法の変更がある場合がありますので必ずご確認ください。

次頁「7. お申込み（入力内容）についてのご注意」もご確認ください。

2. 聴講料：以下の表をご確認ください（金額は税込み）。

一般（非会員）／会員の確認をしますので、お間違えのないようにご注意ください。

区分	一般 (非会員)	会員		
		正会員	特別会員	賛助会員
通常料金	18,800円	13,700円	13,700円	13,700円
開催県内に勤務されている方	13,700円 ※3	2,100円	2,100円 ※2	—
開催県内の市町村職員 ※1	2,100円	0円	—	—
開催地区連合会管内の市町村職員 ※1	18,800円	2,100円	—	—
30歳未満の方	18,800円	2,100円	—	—
開催県内の学生	0円	—	—	—

※1 政令市職員は対象外です。

※2 特別会員は開催県内に勤務又は在住の方が対象です。

※3 非会員は国・県・政令市に勤務の方のみが対象です。

3. 聴講料の振り込み

次の銀行口座にお振り込みください（振り込み手数料はご負担願います）。

三菱UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 0311142
口座名義：シャ）ゼンニホンケンセツギジュツキョウカイ

（お願い） お振り込み名義（協会名等）の前に、開催回数「716」を付してください。

（例：「716 カナガワケン」）

手続き上、不可能な場合はkensyu@zenken.com まで振り込み日と名義をお知らせください。

- ・聴講料は原則、受付確認のメール受信後から開催前日までの間にお振り込みをお願いします。
- ・お振り込み後、銀行振り込みの控え等を kensyu@zenken.com へ送付してください。
- ・会場でのお支払いはご遠慮願います。

4. 申込み締切り：令和7年10月1日（水）正午まで（必着）

上記の後に行われたお申込みは受理できない場合がありますので、お申込み前に必ずご相談の連絡をお願いします。

5. 変更・取消し：全建・西鉄旅行 共用アドレス

Mail: nishitetsu@zenken.com までご連絡ください。

なお、取消しの場合は以下の取消料が生じます。

取消し日	取消し料
7 日前～前日	聴講料の 50 %
当 日	聴講料の 100 %

講習会終了後、所属協会等の指定口座へ取消し料及び振り込み手数料を差し引いた金額をご返金します。

なお、申込み以降に発生した災害対応業務に係る取消しの場合は、取消し日に関わらず全額（振り込み手数料は本会負担）をご返金します。

6. その他

- ・聴講会場への大きな荷物の持ち込みは、出来るだけご遠慮ください。
- ・テキストは当日受付にてお渡しします。
- ・受講証は各日の講義終了後にお渡しします。
- ・参加者には、国内旅行傷害保険をお掛けします。ただし、開催 14 日前以降の申込み及び変更後の参加者については対象外となりますのでご了承ください。
- ・事故防止のため、自家用車での参加はご遠慮願います。
- ・講習会情報については全建ホームページ (<http://www.zenken.com/>) をご覧ください。

7. お申込み（入力内容）についてのご注意

（以下の入力についての間違いが多くなっています）

- ・「地方協会＊」欄は、プルダウンの 1）～8）の中から、所属する地方協会等が所在する地区を1つ選択した後、次に表示されるプルダウンで**所属機関名**を選択してください。
（所属機関が選択肢にない場合のみ、所在する都道府県を選択してください。）
- ・申込者と参加者が異なる場合は、「申込者名／参加者名」欄に表示されている「申込者名（漢字表記）」を「**参加者名**」に**上書き**してください。また、「参加者名（カナ）」欄には参加者名をカタカナで入力ください。
- ・変更・取消しの際は、必ず以下まで**メールにてご連絡**ください。
Mail: nishitetsu@zenken.com

8. お問い合わせ先

- ① 聴講・現場研修の内容等について
（一社）全日本建設技術協会 事業課 杉戸、黒崎
TEL 03-3585-4546 E-MAIL kensyu@zenken.com
登録番号：T4010405000433
- ② 現場研修の申込み
「第 7 1 6 回建設技術講習会【現場研修】について」に記載しています。
- ③ 宿泊斡旋の申込み
「宿泊斡旋のご案内」に記載しています。

第 7 1 6 回建設技術講習会【現場研修】について

1. 日程：令和 7 年 1 0 月 2 4 日（金）8:30～15:45

集合（乗車）8:10～

さいたま新都心バスターミナル（8:30）出発

→ 埼玉スタジアム 2 0 0 2 設備更新事業 [埼玉県]

→ 一般国道 4 号東埼玉道路（八潮～松伏）建設事業 [関東地整]

→ 昼食（越谷市内）

→ 元荒川／大相模調節池（愛称：SakuraLake）河川空間利活用事業
[埼玉県・越谷市他]

→ 越谷レイクタウン駅（14:40）／大宮駅（15:45）着後解散

※現場研修のみの参加はできません。

※上記行程は都合により変更となる場合があります。

2. 添乗員：（一社）全日本建設技術協会 事務局員及び西鉄旅行㈱添乗員

3. 現場研修料：1 0, 4 0 0 円（税込）

※昼食の費用は含まれていません

（飲食施設等にご案内後、各自で自由昼食となります）。

4. 申込み方法：聴講と併せて、以下の専用ページからお申込みください。

https://niccs.nishitetsutransport.jp/ntc_evt_reception/app/QG01248901

※専用ページ内の F A Q 及び「操作方法のご案内」をお読みください。

前開催から操作方法の変更がある場合がありますので必ずご確認ください。

特に、現場研修料のお支払い方法については、「操作方法のご案内」を必ずご確認ください。

5. 申込み締切：令和 7 年 1 0 月 1 日（水）正午まで（必着）

上記の後に行われたお申込みは受理できない場合がありますので、
お申込み前に必ずご相談の連絡をお願いします。

6. 変更・取消し：全建・西鉄旅行 共用アドレス

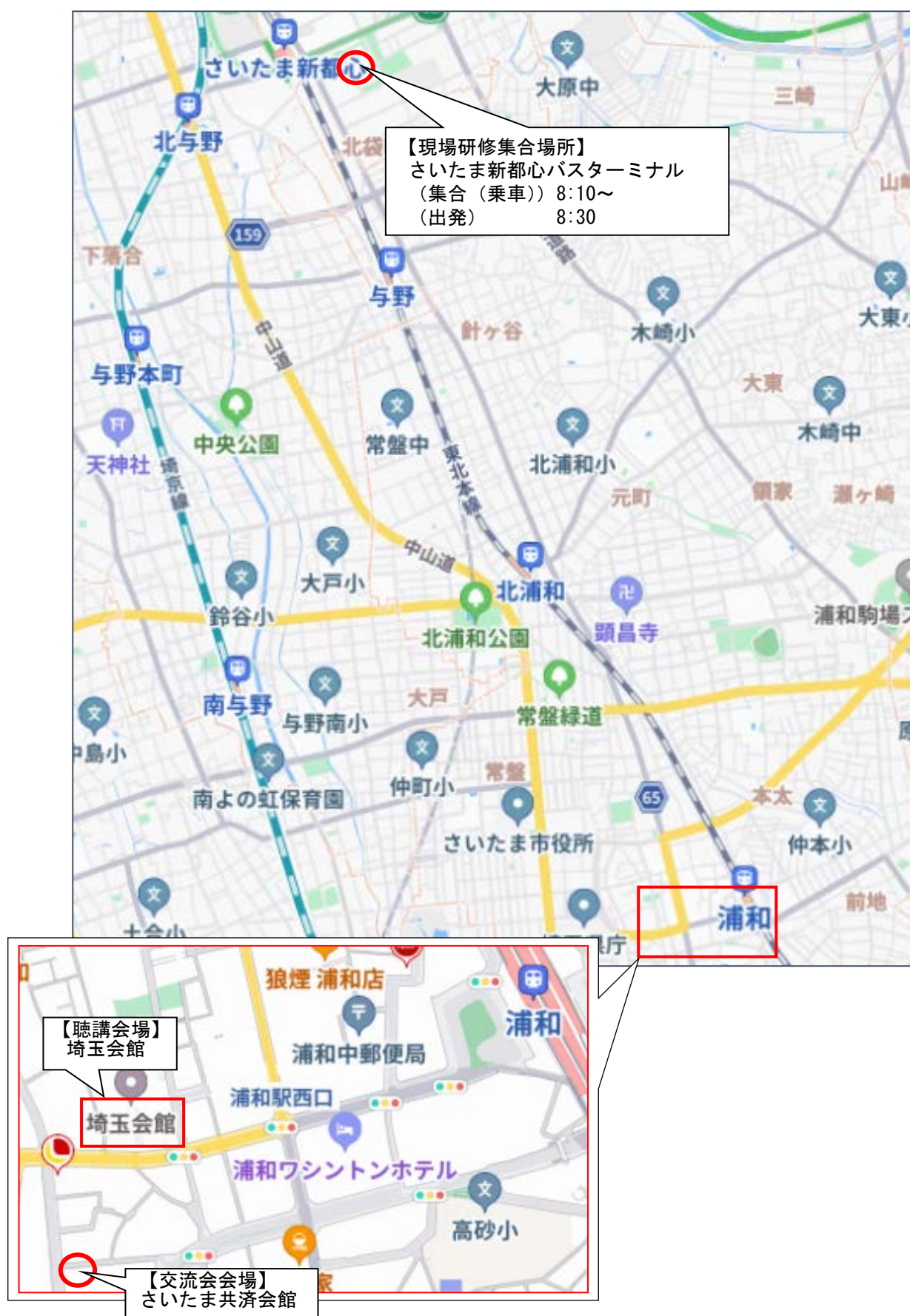
Mail: nishitetsu@zenken.com までご連絡ください。

なお、取消しの場合は以下の取消し料が生じます。

取消し日	取消し料
1 0 日前 ～ 8 日前	現場研修料の 2 0 %
7 日前 ～ 前々日	現場研修料の 3 0 %
前日	現場研修料の 4 0 %
当日	現場研修料の 5 0 %
無連絡不参加及び開始後	現場研修料の 1 0 0 %

7. 現場研修申込についてのお問合せ：西鉄旅行（株）全建担当デスク
Mail: zenken@nnr-g.com TEL 03-6742-0325
8. 現場研修の内容等のお問合せ：（一社）全日本建設技術協会 事業課 杉戸、黒崎
Mail: kensyu@zenken.com TEL 03-3585-4546
9. 旅行企画実施：西鉄旅行（株）東京団体支店
東京都港区東新橋1-8-3 汐留エッジ8階
TEL 03-6742-0325 FAX 03-6742-0328 MAIL zenken@nnr-g.com
登録番号：T2290001009530
観光庁長官登録旅行業第579号 （一社）日本旅行協会正会員
10. その他：
- ・ヘルメットの持参は不要です。必要な現場がある場合には全建にてご用意します。
 - ・視察資料は現場研修の当日、集合場所にてお渡しします。
 - ・参加証は全行程の終了後にお渡しします。
 - ・参加者には国内旅行傷害保険をお掛けします。ただし、開催 14 日前以降の申込み及び変更後の参加者については対象外となりますのでご了承ください。
 - ・事故防止のため、自家用車での参加はご遠慮願います。
 - ・詳しい取引条件を説明した書面を事前にご確認の上お申込みください。

【講習会会場及び現場研修集合場所等 案内図】



第716回建設技術講習会に参加の皆様へ 「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します！



本協会主催の建設技術講習会・実地研修会には、全国各地から多くの皆様にご参加いただいています。

この機会に参加者同士が交流を深め、意見・情報交換を行うことで知見と人脈を広げ、今後の業務に活かしていただくため「参加者同士の交流会」を開催します。

この交流会は、講師の方々にもご参加いただき、直接質問や交流が出来る場としています。皆様のご参加をお待ちしています。

日時：令和7年10月22日（水） 18：00 ～ 19：30（予定）

場所：さいたま共済会館 第1ホール（601）
（会場及び現場研修集合場所案内図 参照）

会費：2,000円
（受付時にお支払いください）

※都合により、開催を中止とすることがあります。
※参加希望人数によって、開催を中止とすることがあります。

※開催時間は変更になることがあります。
その際は開催当日にご案内いたします。

※参加希望の方は、申込ページの「交流会」欄の「参加する」を選択して下さい。

※この交流会は会費制です。

※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。

※服装は特に問いません。



1. 参加者同士の交流促進を図る

①参加者の知見と人脈を広げる（名刺交換） ②意見交換・情報交換

2. 講師との交流・懇談 ※参加講師は都合により変更になる場合があります。

参加予定の講師：全建会長 大石、国土交通省大臣官房技術調査課長 奥田氏
筑波大学名誉教授 石田氏

宿泊斡旋のご案内

参加者には、西鉄旅行(株)が開催地ホテルの宿泊斡旋をいたします。
講習会参加のお申込みと併せて、下記ページからお申込みください。

https://niccs.nishitetsutrans.co.jp/ntc_evt_reception/app/QG01248902

お問合せ先：西鉄旅行（株）東京団体支店 全建担当デスク
Mail：zenken@nnr-g.com
TEL：03-6742-0325

お申込み後の宿泊予約の取消や変更については、上記までご連絡ください。